

## おかやまものづくり大学

### 『金属材料・分析評価機器セミナー』（第1回）のご案内

岡山県では、県内企業のものづくりの高度化を支援しております。その一環として、「おかやまものづくり大学」と銘打ち、講習会等を開催しております。今年度、金属材料科では、センター所有の機器に加え、各種分析機器による材料評価技術を紹介する「金属材料・分析評価機器セミナー」を開催しますのでご案内いたします。今回の X 線残留応力測定からはじまり、その後、X 線 CT、超音波探傷、グロー放電発光分析(GD-OES)、クロスセクションポリッシャ(CP)による断面研磨装置、X 線マイクロアナライザ等の分析評価機器を紹介していく予定です。気軽に質疑応答や懇談ができ、製品開発や品質管理に繋がるような場にしたいと考えております。

今回対象となる「残留応力」とは、外力を除去した後でも物体内に存在する応力です。機器の故障において、残留応力が原因になっていることも多く、機器の安全な運用や寿命の予測を行ううえで、その評価は必要不可欠なものになっています。このような背景を踏まえて、パルステック工業(株) 内山宗久氏をお招きし、2次元検出器を使った X 線残留応力測定装置についてご紹介いただきます。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1 日 時 令和6（2024）年7月26日（金） 13：00～14：00

2 開催方法 「Zoom」による WEB 開催

3 開催次第

13:00～13:50

講演：2次元検出器を使った X 線残留応力測定装置の原理と測定事例の紹介

講師：パルステック工業(株) 内山 宗久 氏

内容：自動車業界では、燃費向上目的の軽量化だけでなく、安全性や走りを追求するために、部品の寸法精度向上や疲労強度向上が求められています。

重要部品は様々な処理をすることで、高強度化でき、その効果確認を硬さ測定や、残留応力測定が活用されています。

今回は 2次元検出器を使用した、X 線残留応力測定装置の原理とその測定事例を紹介します。

13:50～14:00 質疑応答および懇談

（次ページに続きます）

- 4 定 員 100名（先着順）  
（申し込み者には、後日、参加方法をメールにてお知らせします。）
- 5 参加費 無 料
- 6 申込方法 岡山県電子申請サービスから、必要事項をご入力お申し込みください。  
  
[https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=39241](https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=39241)
- 7 申込締切 令和6（2024）年7月23日（火）17時
- 8 注意事項 本セミナーについて、許可無く無断で複製、編集、配信、レンタル等しないでください。
- 9 申込・問合せ先  
岡山県工業技術センター応用技術部金属材料科 担当：水戸岡、築山、岡野  
TEL：086-286-9600  
FAX：086-286-9630  
E-mail：yutaka\_mitooka@pref.okayama.lg.jp